



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤ハム株式会社  
 コード番号 2284 URL <http://www.itoham.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 堀尾 守  
 (氏名) 石井 隆

TEL 0798-66-1231

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	161,019	46.4	2,667	613.5	2,683	792.6	2,306	—
27年3月期第1四半期	109,993	1.4	373	△23.8	300	△45.1	44	△82.9

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 2,150百万円 (219.7%) 27年3月期第1四半期 672百万円 (△65.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	11.30	11.28
27年3月期第1四半期	0.21	0.21

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	275,218	134,724	46.0
27年3月期	260,000	134,294	48.6

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 126,735百万円 27年3月期 126,258百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	8.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	310,000	34.8	4,500	253.5	4,700	68.1	3,800	83.2	18.61
通期	620,000	28.9	9,000	139.1	10,000	52.2	7,000	△39.3	34.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	247,482,533 株	27年3月期	247,482,533 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	43,232,310 株	27年3月期	43,307,452 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	204,194,201 株	27年3月期1Q	214,145,935 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レート、獣疫など様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成28年3月期第1四半期	161,019	2,667	2,683	2,306	11.30
平成27年3月期第1四半期	109,993	373	300	44	0.21
増減率	46.4%	613.5%	792.6%	—	—

当第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、円安・株高傾向が続き企業収益や雇用環境の好転を背景に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、一方では円安による物価上昇の影響もあり実体経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、食肉相場が堅調に推移したものの、原材料価格が高止まりしていることなど依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「CNV2015」の最終年度にあたり、これまで取り組んでまいりました施策にさらに磨きをかけ、企業ブランド・商品ブランドの価値を高め、コスト競争力を強化しナショナルブランドメーカーとしての地位向上に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。

当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は、ハム・ソーセージでは販促活動を積極的に展開し、「The GRAND アルトバイエルン」や「朝のフレッシュシリーズ」等の主力商品が順調に売上を伸ばしたことやコンビニエンスストア向けの商品が大きく伸びた結果、前年同期に比べて9.6%増となりました。また、調理加工食品ほかにつきましては、ハンバーグ類、ピザ・スナック類が好調に推移し前年同期に比べて25.9%増となりました。食肉につきましては、アンズコフーズ社の連結による売上増加と相場の高騰により前年同期に比べて67.4%増と大幅に増加した結果、売上高全体としては前年同期より510億2千5百万円増加して1,610億1千9百万円（前年同期比46.4%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益は、ハム・ソーセージの売上回復、調理加工食品ほか及び食肉の売上増加に伴って前年同期に比べて44億1千1百万円増加して227億8千3百万円（前年同期比24.0%増）となりました。営業利益は、アンズコフーズ社の連結に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、前年同期に比べて22億9千3百万円増加して26億6千7百万円（前年同期比613.5%増）となりました。また経常利益につきましても、前年同期に比べて23億8千3百万円増加して26億8千3百万円（前年同期比792.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の特別利益への計上等により前年同期に比べて22億6千2百万円増加して23億6百万円となりました。

報告セグメント別の内訳につきましては、加工食品事業本部は、ハム・ソーセージの売上回復等により売上高は62億5千4百万円増加して755億5千8百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は9億4千1百万円（前年同期は5億7千1百万円の損失）と大幅な増益となりました。食肉事業本部は、売上高は454億8千万円増加して1,139億7百万円（前年同期比66.5%増）、営業利益は7億6千6百万円増加して18億3千2百万円（前年同期比71.9%増）と大幅な増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて152億1千7百万円増加し、2,752億1千8百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金とたな卸資産の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて147億8千8百万円増加し、1,404億9千3百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金及び長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億2千9百万円増加し、1,347億2千4百万円となりました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加と繰延ヘッジ損益及び為替換算調整勘定の減少等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## (税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、グループとしての税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,952	15,739
受取手形及び売掛金	61,827	70,102
有価証券	10	1,500
商品及び製品	50,388	52,996
仕掛品	448	567
原材料及び貯蔵品	15,207	17,483
その他	6,159	6,961
貸倒引当金	△38	△40
流動資産合計	148,956	165,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,255	26,531
機械装置及び運搬具(純額)	19,122	18,380
工具、器具及び備品(純額)	794	784
土地	20,264	20,019
リース資産(純額)	1,164	1,268
その他(純額)	1,094	1,282
有形固定資産合計	69,695	68,266
無形固定資産		
のれん	401	376
その他	1,345	1,360
無形固定資産合計	1,746	1,736
投資その他の資産		
投資有価証券	30,026	29,641
退職給付に係る資産	2,833	3,245
その他	6,923	7,196
貸倒引当金	△182	△177
投資その他の資産合計	39,601	39,905
固定資産合計	111,044	109,909
資産合計	260,000	275,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,356	44,191
短期借入金	22,385	24,176
1年内返済予定の長期借入金	5,661	6,740
未払法人税等	553	209
賞与引当金	2,628	1,143
その他	19,102	21,432
流動負債合計	89,687	97,894
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,295	26,375
債務保証損失引当金	137	123
厚生年金基金解散損失引当金	468	468
退職給付に係る負債	1,458	1,464
資産除去債務	855	857
その他	2,803	3,309
固定負債合計	36,018	42,599
負債合計	125,705	140,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,045	30,042
利益剰余金	75,450	76,119
自己株式	△17,879	△17,848
株主資本合計	116,044	116,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,052	7,591
繰延ヘッジ損益	593	289
為替換算調整勘定	2,424	1,952
退職給付に係る調整累計額	142	162
その他の包括利益累計額合計	10,214	9,995
新株予約権	88	60
非支配株主持分	7,948	7,928
純資産合計	134,294	134,724
負債純資産合計	260,000	275,218

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	109,993	161,019
売上原価	91,621	138,235
売上総利益	18,372	22,783
販売費及び一般管理費	17,998	20,116
営業利益	373	2,667
営業外収益		
受取利息	29	13
受取配当金	134	147
受取賃貸料	121	178
その他	97	239
営業外収益合計	382	579
営業外費用		
支払利息	59	410
不動産賃貸費用	49	41
持分法による投資損失	342	2
その他	5	108
営業外費用合計	456	563
経常利益	300	2,683
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,345
債務保証損失引当金戻入額	42	13
その他	0	3
特別利益合計	42	1,362
特別損失		
固定資産除却損	21	9
その他	3	3
特別損失合計	24	12
税金等調整前四半期純利益	318	4,033
法人税、住民税及び事業税	-	552
法人税等調整額	-	858
法人税等	255	-
法人税等合計	255	1,410
四半期純利益	62	2,623
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	316
親会社株主に帰属する四半期純利益	44	2,306



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	62	2,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	625	539
繰延ヘッジ損益	△259	△311
為替換算調整勘定	△101	△819
退職給付に係る調整額	139	19
持分法適用会社に対する持分相当額	205	99
その他の包括利益合計	609	△472
四半期包括利益	672	2,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651	2,088
非支配株主に係る四半期包括利益	20	62

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	68,017	41,962	109,980	12	109,993	—	109,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,286	26,464	27,750	154	27,904	△27,904	—
計	69,304	68,426	137,730	166	137,897	△27,904	109,993
セグメント利益 又は損失(△)	△571	1,065	494	20	514	△140	373

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,112	86,403	160,516	503	161,019	—	161,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,446	27,504	28,950	160	29,111	△29,111	—
計	75,558	113,907	189,466	664	190,130	△29,111	161,019
セグメント利益	941	1,832	2,773	16	2,790	△122	2,667

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

## 1. 商品分類別の売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減	
	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日		(%)
ハム・ソーセージ	25,824	28,303	2,479	9.6
食 肉	64,374	107,788	43,413	67.4
調理加工食品ほか	19,794	24,927	5,133	25.9
合 計	109,993	161,019	51,025	46.4

## 2. 地域別の売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減	
	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日		(%)
日 本	—	124,481	—	—
ア ジ ア	—	9,250	—	—
北 米	—	13,819	—	—
オセアニア	—	5,655	—	—
欧 州	—	6,454	—	—
そ の 他	—	1,357	—	—
合 計	—	161,019	—	—

※前第1四半期連結累計期間については本邦の外部顧客への売上高が四半期連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。